

AICA

aica pur

水性硬質ウレタン樹脂トップコート

JJ-510

ローラーでの

簡易施工
(床・巾木)

環境対応

(水性)で

改修工事に最適

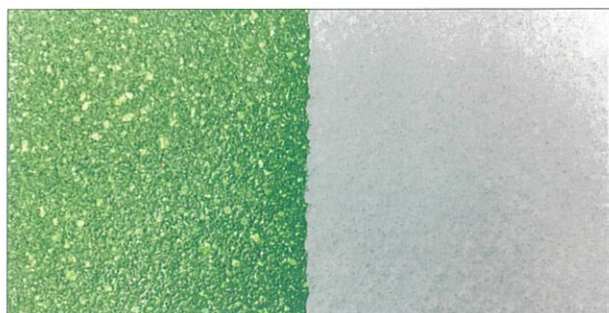
F★★★★★

対応 (JPMA)

イメージ

食品工場・厨房の塗替工事に最適!

アイカピュールJJ-510は、水性硬質ウレタン樹脂を主成分にした改修用トップコートで、水性のため臭気を気にせず、食品工場・厨房の塗替工事に最適です。



耐熱ピュール

JJ-510 C23

品番 JJ-510A・B・C

3.5kgセット (A: 1kg、B: 1kg、C: 1.5kg)

推奨箇所

食品工場、厨房作業場
(水性硬質ウレタン樹脂塗床材の
塗替え工事、巾木)

適用下地

既存水性硬質ウレタン樹脂床材

標準色

※色調により、紫外線や水銀灯などの影響で変色する恐れがあります。
※印刷物につき、商品写真と実物とは多少相違することがあります。



C23



C48



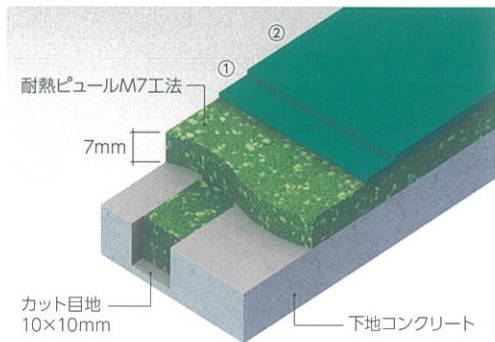
C68



C82

水性硬質ウレタン樹脂トップコート JJ-510

■工程



半防滑仕上げ

- ②上塗 JJ-510A
JJ-510B
- ①下塗 JJ-510C

塗付量：0.25kg/m² 2回塗り
塗付厚：約0.3mm

■特長

【リコート性】

水性硬質ウレタン樹脂旧塗膜との密着性が良好なため、改修に最適です。

【耐熱衝撃性及び耐摩耗性】

水性エポキシ系塗床材(ジョリエースJA-100)及び水性アクリル系塗床材(ジョリエースJA-810)と比較して耐熱衝撃性及び耐摩耗性に優れています。

※下地処理について

- (1) 改修下地に付着した粉塵・油分などを中性洗剤等で洗浄後乾燥させる。
- (2) サンドペーパー(#40~80)にて研磨後、ムラなくシンナー拭き(JT-104)をする。

■工法性能表

試験項目	試験結果			試験方法
	JJ-510 (水性硬質ウレタン樹脂)	JA-100 (水性エポキシ樹脂)	JA-810 (水性アクリル樹脂)	
圧縮強度	35.0N/mm ²	—	—	JIS K 6911
曲げ強度	20.5N/mm ²	—	—	JIS K 6911
付着強度	2.5N/mm ² 100%下地破壊 (JJ-500下地)	2.65N/mm ² 100%下地破壊 (コンクリート下地)	2.1N/mm ² 100%下地破壊 (コンクリート下地)	建研式接着力試験
耐摩耗性	70mg	88mg	170mg	JIS K 7204 (CS-17, 9.8N)1000回転
耐熱衝撃性	500サイクル異常なし(JJ-500下地) 300サイクル異常なし(コンクリート下地)	100サイクル膨れ発生 (コンクリート下地)	100サイクル膨れ発生 (コンクリート下地)	【95°C熱水×5分】⇄【20°C冷水×10分】 繰り返しサイクル
リコート性 (水性硬質ウレタン旧塗膜)	○	×	×	24時間水中養生後皮すきによる 強制剥離試験

共通項目

- 本カタログに記載されている製品の使用、取扱い、保管については、必ず製品説明書および安全データシート(SDS)も合わせてお読みください。
- 記載内容は当社試験結果によるもので十分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を必ずしも保証したものではありません。また、使用目的、使用条件により結果が相違する場合もありますので、予めご需要家各位でご確認されることを推奨します。

カタログ、サンプル帳、現物サンプルのご請求はホームページにてお受けしております。

<http://www.aica.co.jp/>

アイカ工業



●アイカカタログセンター ●商品のお問い合わせはアイカ問合せセンターまでお願いいたします。
TEL (052)409-1471 ☎ (0120)525-100 TEL (052)409-8313

※問合せセンター・カタログセンターを含む全営業店の営業日は、月～金(除く：土日祝休)です。ホームページからのカタログ・サンプル当日出荷の受付締め時間は14:00です。
※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSの一部のIP電話等からはご利用になれない場合がございます。

業務用

- 改良のため、予告なく仕様及び価格を変更することがありますのでご了承ください。確認はアイカ問合せセンターまでお願いいたします。
- 荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。また、ご使用前に製品に異常がないかも確認してください。(後日に発見された場合は、責を負いかねます。)

- 印刷物につき、商品写真と実物とは相違することがあります。
- ©アイカ工業株式会社 本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。